

子どもが創る・子どもと創る – 多様な学びと社会を実現する –

---

特定非営利活動法人東京シューレ

2021年度(第23期)

## 活動報告書

(決算書・貸借対照表)

---



東京シューレホームページより日常活動

---

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : https://shure.or.jp

## もくじ

ごあいさつ 代表理事 佐藤信一、池田あつ子、喜多明人	-----3
2021 年度(第 23 期) 事業報告及び決算に関する事項	-----4
■ 1. 2021 年度基本方針・重点目標をふり返る	
■ 2. 事業の概要	-----5
■ 3. フリースクール等の事業について	-----5
■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について	-----10
■ 5. 公民連携事業	-----11
■ 6. その他の事業	-----12
■ 7. その他の活動について	-----12
■ 8. 収益事業	-----15
■ 9. 団体の運営に関する報告	-----15
■ 10. 決算に関する報告	-----19
監査報告	-----25
2022 年度(第 24 期) 基本方針・基本計画	-----28
役員体制・スタッフ体制	-----29

## ごあいさつ

NPO法人東京シューレ 代表理事 佐藤信一、池田あつ子、喜多明人

日頃より東京シューレの活動をご支援、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

2021 年度は、私たちにとって、大きな変革、チャレンジの年となりました。ログハウスシューレ性暴力加害事件（ログ事件）に対する組織としての対応の過ちを踏まえ、二度とかような人権侵害を引き起こさないための組織再建に取り組んでまいりました。法人経営を担う理事会には、外部理事と共同代表制を導入し、それぞれの役割を発揮しながら、事件対応や財政施策に取り組んでいるところです。教育運営では、子ども・若者を軸に、保護者・スタッフの三者が一体となって参加する活動づくりのあり方について検討してきました。子ども参加、保護者参加、スタッフの在り方などについて、それぞれの立場で対話を重ねているところです。建設的な試行錯誤のチャレンジが続いています。

フリースクール活動においては、引き続き新型コロナウイルスの感染対策を行いながらも、しばらくできていなかった飲食や宿泊を伴う企画を再開しつつあります。ホームシューレ活動においては、全国に点在する仲間たちとの直接的な出会いは厳しい状況でしたが、オンライン交流によるつながりを深めることができました。今年度もそれぞれの活動において、「子どもが創る・子どもと創る」を実践し、安心・安全の居場所づくりと豊かな活動づくりに取り組んでいきたいと思えます。

また保護者同士の交流を深めるため、現在の保護者会とは別に保護者による独自活動の「保護者の会（仮称）」を立ち上げました。まだ出来たばかりの会で交流以外にどんな事が出来るのか今後保護者が話し合いながら作っていきます。

一方で、新型コロナウイルス対応、普通教育機会確保法による行政の不登校施策の柔軟化と学校外の居場所・学び場の多様化、ログ事件などのことが影響し、会員の減少傾向が深刻な状況にあります。会員増の取り組みと共に、認定 NPO 法人化に向けた取り組み、ご寄付、私募債などによる資金確保が、持続可能な組織づくりのために喫緊の課題となっています。

私たちの改革とチャレンジは、今年も続きます。

目の前の子ども・若者たちの命と今を大切に、新しい出会いと仲間づくりをしていくためには、NPO 会員のみなさまによる引き続きのご支援とご協力が欠かせません。

ひきつづき、ご理解・ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 2021 年度（第 21 期）事業報告及び決算

### ■ 1. 2021 年度の基本方針・重点目標を振り返る

2021 年度の通常総会と臨時総会において、下記の重点目標(テーマ)を設定して 1 年間取り組んでまいりました。8 月には臨時総会を開催し、組織再建に向けた新たな方針と重点を掲げ取り組みました。

#### 2021 年度の重点目標

##### 【重点目標 1】 フリースクールの価値を打ち出し、多様な学びをさらに進化させ、「子ども中心の教育」の魅力を高める

- ① 子どもの成長に大切なスポーツ、野外活動、自然体験等をコロナ状況の様子を見ながらも充実させていく
- ② 子ども達の未来を考え、持続可能な地球や社会に向けて、SDGs への関心を高め、年齢に応じてできることに取り組む
- ③ 現在増えている小学生への対応、基礎学習や体験的学び等、初等部研究会を継続しながら構築していく
- ④ 社会的自立を視野に入れつつ、高等部ならではのオリジナルな活動を充実させ、自信をもって、次のステップに進めるようにサポートしていく
- ⑤ コロナ状況から在宅で成長する子ども若者が増えている状況を背景に、ホームシューレ事務所独立を活かしつつ、ホームエデュケーションへの理解を広め、つながりを増やしていく

##### 【重点目標 2】 東京シューレのこれまでの制度を見直し、新しい時代により対応できるよう、仕組みを整える

- ① オンライン活動を充実させ、個別最適なかかわり方を見つけながらも子ども相互の交流を活発化させる検討を行っていく
- ② 開室時間の在り方をさまざまな側面から見直し、検討する
- ③ これまでの会員制度（正会員・準会員等）を見直し、適切な制度としていく
- ④ 保護者同士のつながりあいを「親立」の考え方で出発した場であることを共有化しつつ、保護者会の在り方を再検討し、参加者が増える工夫をしていく

##### 【重点目標 3】 ログハウスシューレ性暴力加害事件等の反省に基づく対応と再発防止に努める

- ① ログ性加害事件を生じさせたことを深く反省し、検証の上で分かった組織上の問題点を改善していく
- ② 事件や裁判について明確にし、しっかりした対応と社会的責任を果たし、再発防止策を推進する

##### 【重点目標 4】 公民連携による不登校理解の拡大と多様な学びの推進

- ① 当法人も力を入れて実現させた「普通教育機会確保法」の周知・普及をさらにすすめ、不登校への否定的まなざしを変えていく
- ② フリースクールへの公的な財源による経済支援について、国、都、区に働きかけ、一歩でも前進させる
- ③ 世田谷区、北区、新宿区、東京都、千葉県などつながりができた自治体と連携しながら、多様な学びへの理解と協力を広げる

##### 【重点目標 5】 組織基盤の整備と職員の働き方改革をすすめる

- ① スタッフの業務削減と効率化により、ゆとりをもって仕事に取り組める環境づくりを行う
- ② 事務局体制を見直し、事務作業を整理し、適切な分担を検討、スタッフの事務作業時間を確保する
- ③ スタッフの有給休暇の取得を徹底する
- ④ スタッフの採用方法、採用条件を検討し定める
- ⑤ スタッフがじっくり話し合える機会をつくる

## ■ 2. 事業の概要

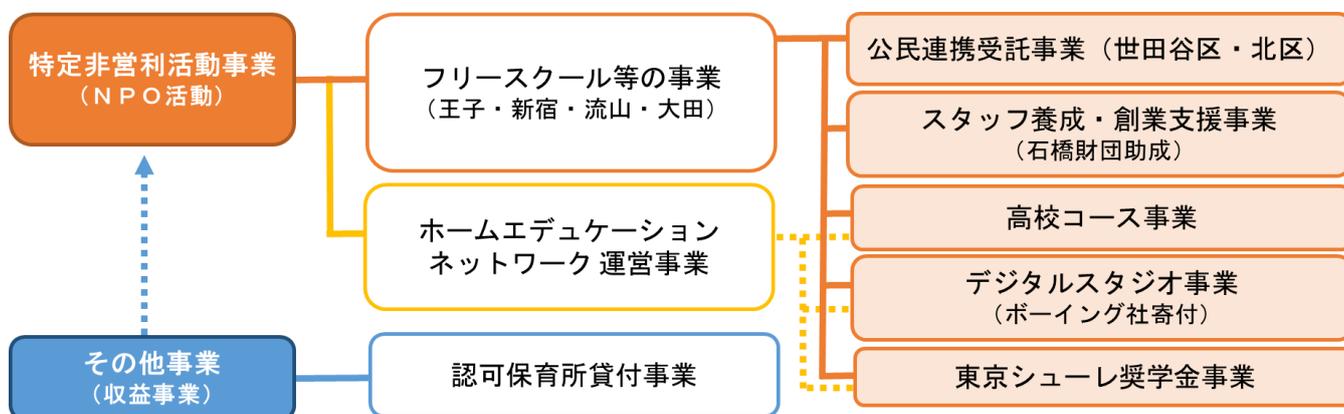
2021 年度（第 23 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援）事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

### （1）会員数等の動向

2021年度在籍者数 ( )は2020年度

	王子		新宿		流山		大田		ホームシューレ		ほっとスクール「希望丘」			
	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	説明会参加者数	相談者数		
説明会申込者数	206 (255)													
説明会参加者数	141 (181)										107 (85)			
入会者数	13 (29)		14 (8)		6 (6)		8 (11)		25	31 (31)	764 (462)			
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末		年間	年度末	通室者数	正式生	通室生
初	24 (29)	18 (24)	11 (11)	10 (9)	5 (4)	5 (4)	23 (32)	23 (28)	正会員	138 (152)	118 (116)	小学生	17 (31)	29 (20)
中	20 (24)	13 (17)	13 (10)	10 (7)	11 (16)	10 (13)	12 (10)	10 (9)	メッセージ	40 (52)	26 (39)	中学生	23 (22)	32 (41)
高	52 (66)	48 (56)	27 (28)	25 (24)	12 (10)	10 (8)	5 (4)	4 (2)						
計	96 (119)	79 (97)	51 (49)	45 (40)	28 (30)	25 (25)	40 (46)	37 (39)		178 (204)	144 (155)	計	40 (53)	61 (61)
	年間				年度末									
	215		(244)		186		(201)							

### （2）2021 年度の事業・活動全体の様子



## ■ 3. フリースクール等の事業について

4 スペースを週 5 日で開設し、6 歳（小 1）～23 歳（入会は 20 歳まで）を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習をつくっていく子ども中心の学びを継続し、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながら工夫してスペース運営を行いました。説明見学会や体験見学・オープンデー、開室時間など、各スペースの独自性を活かす運営を推進しました。また、会員制度の運用について、参加しやすさや活動のつくりやすさの点、経営面の点から、新規準会員入会と準会員への区分変更をなくす変更を行いました。

外遊び・プレーパーク、体育館スポーツ、バスケットボールサークル、茅ヶ崎海岸や那須高原合宿（王子）、フット

サル(新宿)、生き物クラブや釣りサークル(大田)、アスレチック(流山)、スキー合宿(2月)、フリースクール・葛飾中合同スポーツ交流(9月、1月)、NPO 法人 CHILL 支援によるスケートボード教室(11月2回)・スノーボード体験(3月)、ナイキジャパン支援による豊洲スポーツ施設でのスポーツ体験(12月~3月)などを実施しスポーツ、野外活動、自然体験等を広げました。スタッフでは NPO・学園合同で「遊び・スポーツ部会」をつくり、研究やスポーツ企画の充実を図りました。ナイキジャパンとルーデンスジャパンによる遊びプログラムを江戸川小学校の体育授業に提供し実践研究を行いました。

東京シューレ合同文化祭(11月)は新宿メンバーが中心となり、また音楽祭・東京シューレコレクション(12月)は王子・新宿・流山メンバーが中心となって企画実行し、活動発表やステージ発表、創作出展のよい機会となり、またスペース同士の交流の機会となりました。

フリースクールをテーマとした自主制作映画『フリースクールなう』を合同で制作実行委員会をもって完成させ、文化祭や各スペースで試写会を開催しました。制作にはボーイング社助成と 35 周年寄付のご協力を得ました。

## (1) 王子シューレ

事業費 3,851 (3,983) 万円 ※ ( ) は 2020 年度実績

2021 年度は、年間を通して 13 名が入会し、20 名が退会しました。下半期以降、オープンデイの定例開催、説明会の実施回数増など、入会増を促進する取り組みを行いましたが、期首の入会予測達成には至りませんでした。一方で、非常勤・ボランティアなどスタッフ体制を充実させ、前年度よりも、スタッフが子どもとの関わりをじっくり持つことができました。子どもたちの居場所・活動づくりにおいては、初等部・中高等部(高 2 年齢まで)・高等部(高 3 年齢以上)という 3 部制をとりました。それぞれの部独自の活動が実施しやすくなり、年齢層に応じた特色のある企画が生まれました。

### ① 部独自の活動として、特色ある企画が生まれました。

- 初等部メンバーからの発案で、演劇活動が 1 年を通して行われました。脚本・演出・出演等、初等部メンバーが企画し、5月、11月の合同文化祭、3月の旅立ち祭の計 3 回発表を行いました。
- 中高等部が企画した「東京ディズニールンド企画」は、初等部や高等部からも参加希望者が集まり、20 名ほどが参加する大きな企画となりました。
- 高等部はコロナ禍もあり来室人数は少なかったものの、その分じっくりと対話する時間をとることができ、互いの事を知ることができました。哲学や社会講座を通しての対話の機会も充実させ、時事問題等への関心を深めるきっかけにもなりました。

### ② 年間を通して性講座、CAP ワークショップを実施しました。

### ③ 音楽や芸術活動などを通して、表現や交流の機会を増やすことができました。

- 劇団四季観劇企画や美術館企画等、さまざまな芸術作品に触れる機会を充実させたほか、ピアノパーティ、文化祭、音楽祭、活動発表会、旅立ち祭などを通して、子どもたちがそれぞれの作品や思いを表現・交流することができました。

### ④ 非常勤・ボランティアが中心となって、様々な学習サポート体制を充実できました

- 高校コースレポートサポート、他校のレポートサポート、中等部・初等部の基礎学習サポート、大学入試や葛飾中・江戸小への入学・転学サポートなど。

2021	こんなことがありました
4月	花見 アメリカプロジェクト(クロンララスクールとのオンライン交流)
5月	ポケモンを語る会 初等部演劇発表
6月	周年祭 劇団四季観劇 獣医さんに会おう
7月	夏祭り ピアノパーティ(第1弾)
8月	夏季特別ピアノ講座
9月	ピアノパーティ(第2弾)
10月	ディズニールンド企画、ハロウィンパーティ
11月	合同文化祭 ナイキ豊洲スポーツ体験 CAP 研修
12月	音楽祭 鉄道の旅 クリスマス会、劇団四季観劇 ナイキ豊洲スポーツ体験 ピアノパーティ(第3弾)
1月	新年会 ナイキ豊洲スポーツ体験
2月	スキー合宿 ナイキ豊洲スポーツ体験
3月	活動発表会 旅立ち祭 初等部旅行

## ⑤ 地域連携の定着

- ・ 北区教育委員会との連携は 4 年目に入り、近隣区域からもシューレを教育機関の紹介によりシューレとつながる層が増えました。新年度より北区との新たな連携も予定しています。
- ・ 社会福祉協議会子ども若者応援ネットワーク、北区 NPO ボランティアぷらざとの連携も継続しました。

## ⑥ 課題と今後の方向性

- ・ **入会増の取り組み重点化**
  - ・ 会員の在籍校との連携を強める、北区をはじめ近隣区域の教育機関とのつながりも強めていく。
- ・ **プログラムによる活動作りとより効果的な部の体制と場の使い方を行っていくこと**
  - ・ コロナ禍によって多くのプログラムが制約されていたが、今後は感染対策を引き続き行いながら、プログラムを明確にし構造化を意識するなど、部の体制や場の使い方についても、工夫を重ねていく。
- ・ **スタッフ体制の充実化**
  - ・ 年齢で過ごすスペースが分かれているため、異年齢の子どもどうしの関係づくりが課題となっています。子ども対スタッフという狭い関係性に集中しないよう、子どもどうしの関係づくりをサポートする存在として、ボランティアスタッフなどの拡充を検討します。

## (2) 新宿シューレ

事業費 2,215 (2,006) 万円

1 階に移って、2 年目になりました。新型コロナの感染防止にも広がって良かったと思います。高等部のやりたいと思ったことが形になり、イベントや通信の特集など面白企画がいっぱいの一年でした。また初等部・中等部の見学・入会が多い年で、日常の人数が増えて賑やかでした。

### ① 各部の充実

- ・ ミーティング、チュートリアル、いちごミーティング、18 才以上ミーティングで話し合う時間をもちました。また日常の中でも気になったことを話し合う時間がありました。
- ・ 学びの充実（基礎学習、英会話、レポートサポート講座、高校認定講座、大学受験対策講座など個々の進み具合に応じて講座を行いました）

### ② 多様な学びの充実

- ・ 26 周年祭や季節の行事、年度末の新宿祭など、バンドや映像、お笑いなどやりたいことをとことん詰め込んだイベントになりました。
- ・ 文化祭や旅立ち祭では実行委員会を中心に活動しました。
- ・ 35 周年祭の記念映画の撮影、編集作業を行いました。
- ・ 「子どもの権利講座」を行いました。

2021	こんなことがありました
4 月	高校コース入学式、説明会
5 月	新宿公開イベント、通信作り、説明会
6 月	26 周年祭、説明会
7 月	通信作り、説明会
8 月	担任見学会、全国ネット子ども交流
9 月	説明会
10 月	ハロウィンパーティー、通信作り、スポーツ交流
11 月	合同文化祭
12 月	音楽祭、クリスマス会、通信作り
1 月	新年会
2 月	節分、スキー合宿、成人を祝う会、通信作り
3 月	旅立ち祭、高校コース卒業式、新宿祭、お花見、映画上映会

### ③ 会員増への取り組み

- ・ 全体の説明会を新宿で行いました。
- ・ 毎週、オープンディ・個別相談を行い、入会につながりました。
- ・ 会部向けの公開イベントを行いました。（新宿区勤労者・仕事支援センター助成）
- ・ 説明会やオープンディ、イベントに参加した保護者向けに親の会を行いました。

### ④ その他

- ・ デジタル機器の充実
- ・ 公式 LINE、会員向けの Youtube チャンネルスタート
- ・ 建物入り口に電子ロックを施工

## ⑤ 課題と今後

- ・ 各部のミーティング が定期的にもてなかった
- ・ 会員増に向けて、女子の居やすい空間ならなかった
- ・ スペースの活用

## (3) 流山シューレ

事業費 1,437 (1,392) 万円

流山シューレとしては7年目。コロナ関係で活動に制限があり、子どもが毎年楽しみにしていた「料理」や「おやつ講座」はできなかった。子どもたちから「子ども予算」を計画的に進めたいという意見を取り入れ「子ども予算」を前期・後期に分けて提示し予算の使い方を話し合った。その結果、「何かやる日」の過ごし方の工夫がみられ、ボードゲーム等の環境も充実した。また特別企画として子どもたち念願「プログラマーのザクレイさまとスマブラ対決」が実現できた。合同文化祭（音楽祭）では、企画・映像・バンド・司会・装飾など様々な形で参加できた。高校コースは、今年度入学の2名が加わり計6名。

2021	こんなことがありました
4月	高校入学式 ゲーム大会
5月	CFN 懇親会 CFN ゲーム大会
6月	「清水公園」ゲーム大会 大喜利 お泊り会
7月	ゲーム大会 人狼
8月	開放日 CFN 懇親会
9月	面接指導「フリースクール無料開放キャンペーン」清水公園・ゲーム大会 17 ミーティング
10月	保護者面談 ゲーム大会 清水公園 避難訓練 CFN 懇親会 お泊り会 高校コーススクーリング
11月	保護者面談 ゲーム大会 清水公園 合同文化祭
12月	クリスマス会 CFN 懇親会 15 ミーティング 合同音楽祭
1月	ゲーム大会 17 ミーティング 初詣
2月	ゲーム大会 高校定期試験
3月	旅立ち祭 清水公園 ゲーム大会

### ① 広報活動

松戸で子どもが体験談を話す機会を持た。9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」は1週間開催。ブログキャンペーンでは保護者や子どもから体験談を寄せてもらい反響もあった。

### ② 何かやる日・学習・デジタルスタジオ活動

学習：個別学習は英語が定着。高校コースは自主的に学習を進める様子が見られる。

何かやる日：ゲーム大会は計画的に継続開催され盛り上がった。

その他：セーブザチルドレンからの声かけから「子ども権利条約」への関心が高まり、学習会が持てたり、院内集会に参加できた。

デジタルスタジオ活動：環境整備に主に助成金が使われイメージに近い仕上がりとなった。またプログラマーを呼んでゲーム大会も開催できた。

### ③ 千葉県フリースクール等ネットワーク(CFN)

千葉県不登校児童生徒情報交換会は、千葉県教育委員会と協力して開催。年に5回開かれる懇親会も毎回異なるフリースクールで行い、情報交換等も充実した。

## (4) 大田シューレ

事業費 1,547 (1,479) 万円

「初等部を中心とした学びの充実」、「子どもたちの自主的な場としての活動づくり」、「行政・地域・保護者との連携の強化」の3つを柱に、活動づくりをしてきました。また、見学に来られたご家庭との連絡を密にするなど会員増への取り組みも行ってきました。

### ① 活動の確認・認識

- ・ 「朝の会」を設けたり、活動予定の記入などを行い、活動を確認・認識しながら活動づくりを行って来ました。

② 個別学習への取り組み

- ・ 「学びタイム」や個別学習の時間を設け、学習に対して不安な気持ちを持つ子どもたちや、受験勉強に取り組むたい子どもたちへの対応を行いました。

③ 自主的な場としての活動づくり

- ・ ミーティングの議長の担い手が増えました。また、議長となった子どもは議論の進め方などについても考えながらやっていくことが多くなりました。
- ・ イベントなどの活動づくりを通して、実行委員会の子どもたちを中心に、自主的活動について子どもたちと考える機会がありました。
- ・ 生き物クラブ、バスケサークル、釣りサークルなど、サークル活動を子どもたち自身が立ち上げ、どのように活動をつくっていくかを考えました。
- ・ 数回行ったゲーム大会はルール等なども含め、子どもたちで運営をしました。

2021	こんなことがありました
4月	3周年祭
5月	ベランダプロジェクト
6月	総会
7月	大田区教育研究会来訪
8月	全国子ども交流（ゲーム大会企画）
9月	生き物クラブ活動再開
10月	ハロウィンパーティ 文化祭準備
11月	東京シューレ文化祭
12月	クリスマス会、火曜講座開始、大田区フリースクール等協議会発足
1月	新年会、
2月	スキー合宿、釣りサークル発足
3月	スノーボード体験、旅立ち祭、コロナ感染で閉室（3日間）

④ 初等部の学び

- ・ さまざまな職業の方をお呼びする公開講座（名称「火曜講座」）を開始し、体験学習の一環として行いました。

⑤ 行政との連携

- ・ 東京都教育委員会が主宰の東京都フリースクール等ネットワークや大田区教育委員会主宰の大田区フリースクール等ネットワークに参加し、行政との連携をしてきました。

⑥ 課題

活動づくり

- ・ 活動全体が、ゲームに引っ張られることが多く、ゲーム以外の活動づくりが難しい年でした。
- ・ 個人の意見が強く反映されたぶん、場としての活動づくりが難航しました。
- ・ 中・高等部の活動づくりできませんでした。

正会員数の減少

- ・ 退会者や準会員への移行が続き、正会員数が減少しました。また、日常的にスペースに来ている人数も減少し、活動づくりにも影響が出ました。
- ・ 会員増の取り組みとして今まで見学に来られたご家庭に公開講座の案内を送るなど連絡を密にしましたが、会員増にはなかなかつながりませんでした。

## ■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業 事業費 1,580 (1,597) 万円

- 6 月にオンライン上で新事務所のお披露目を兼ねた公開イベントを実施しました。
- 2020 年度同様、コロナ禍の影響を受けて主だった交流機会である「全国合宿」「地方サロン」「自主サロン」「一日フリースクール」「オフ会」等が中止になりました。
- 「オンライン交流会」を毎月実施しました。現在、毎回 30 人前後の参加があります。
- 子ども会員の「オンラインゲーム交流会」も、徐々に利用者が増えました。
- ホームシューレ高校コースのスクーリングは、日数を短縮して札幌で実施しました。

2021	こんなことがありました
4月	5日高校コース入学式、17日オンライン交流会
5月	15日オンライン交流会
6月	6日公開イベント(オンライン)、19日オンライン交
7月	3・4日オンラインスクーリング、5日高校「カヌー」を奥多摩で代替実施
8月	21日オンライン保護者交流会
9月	18日オンライン交流会
10月	16日オンライン交流会
11月	20日オンライン交流会、23日合同文化祭
12月	12日～14日高校コース札幌スクーリング、18日オンライン交流会
1月	15日オンライン交流会
2月	19日オンライン交流会
3月	15日高校コース卒業式、19日オンライン交流会

### ① 公開イベントの開催

- 6月6日に東京シューレ学園と共催で江戸川小学校開校記念式典行事とともにオンラインで実施。会員のシンポジウムのほか、VTRで立石BASEを紹介しました。

### ② オンライン交流の拡大

- オンライン交流会・ゲーム交流を中心に活用。月1回のオンライン交流会は2部制で合計で毎回30人前後の参加があります。ゲーム交流は年度末には月3回開催しています。

### ③ リアル交流機会の復活

- コロナ禍の影響で実施できませんでした。ホームシューレは全国組織であり、都道府県境を超えるイベントを蔓延防止期間・緊急事態宣言発出期間に開催することを自粛していました。

### ④ 課題と方向性

#### リアル交流機会の復活

- ホームシューレ運営委員会(仮)の話し合いにより、会員が主体的に感染防止策や実施の基準づくりをし、2022年4月より各地でリアル交流機会を開催し始めます。

#### 月刊交流誌『ばる〜ん』を希望者のみに送付

- 子ども会員全員に送付していた『ばる〜ん』を希望者のみに送付することにしました。理由は会員ニーズの多様化や年齢幅のバラつき、一方的に送られることに抵抗感を覚える会員の存在、製本・発送コストの削減、個人情報保護などです。4月時点で正会員の37%が希望しています。

#### ホームシューレ高校コース倍増

- 新年度から札幌自由が丘学園と単独提携になります。新入生・転入性・転コース生合わせて7人が新たに参加することとなり、生徒数が2倍になりました。

## ■ 5. 公民連携事業

### (1) 世田谷区教育支援センター ほっとスクール「希望丘」運営委託事業

事業費：3,573 (3,841) 万円

2021 年度も、定員オーバーの為、9 月で見学受け入れをストップしました。年度末の最終的な登録人数は、小学生 46 名・中学生 55 名でした。コロナ対策と受入れ人数を確保するため、2 部制 (9:30~12:00 : 小学生タイム、12:30~15:00 : 中学生タイム) と、朝・昼・夕の 3 回消毒を継続しました。今年度は、余裕のあるプログラムや、子どもと活動予算を考えたことで、活動の深化が見られました。

#### ① 「あそび(余裕)」のあるプログラム

- 大人も子どもも、やりたいときに、「やろう！」と言える環境づくりを行った結果、自発的に、「深海テーマパーク」「芸術はゲームだ大会」などのオリジナルイベントが創られました。

#### ② 子どもと創る「活動予算」

- 小学生は室内遊具やボードゲーム、中学生はマンガやイベントで使う予算について、学期ごとに意見を出し合い予算を組み立てることができました。

#### ③ 個別対応と地域連携

- 子どもの状況に応じた個別対応や、学校以外の他の機関(すまいるルーム・子ども家庭支援センター・児童相談所・児童館)とも地域連携を図りました。

#### ④ 書類・業務の見直し

- 膨大な報告書類等の業務について、まとめられるものを見直しを行い、教育委員会と検討することができました。

#### ⑤ 事業の継続を目指す

- プロポーザル形式の審査の結果、5 年間の契約継続が決まりました。

2021	こんなことがありました
4月	継続生面談週間、はじまりのつどい、不登校保護者のつどい
5月	15(いちご)ミーティング(以降毎月開催)
6月	芸術はゲームだ大会(ゲーム内で作った作品のコンテスト)
7月	深海テーマパーク、不登校保護者のつどい、保護者会、おわりのつどい
8月	世田谷スタッフ研修、学校訪問、担任見学連絡会、保護者分科会(進路)
9月	はじまりのつどい、保護者会、ほっとスクール合同進路説明会
10月	不登校保護者のつどい、ハロウィンパーティ
11月	不登校保護者のつどい、保護者分科会(学習)
12月	シリーズ人間(おもちゃドクター)、クリスマス会、おわりのつどい、不登校保護者のつどいイベント(保護者経験談を聞く)
1月	はじまりのつどい、避難訓練、保護者会
2月	節分イベント、3周年祭(文化祭)
3月	性講座、小学生の卒業を祝う会、お別れ遠足、旅立ち祭、おわりのつどい

### (2) 北区教育総合相談センター委託事業

委託費 40 万円(新規)

2018~2021 年度の北区政策提案協働事業の成果により、北区教育委員会が東京シューレへ委託する形で不登校支援事業(保護者対象の 4 回講座、会場:北とびあ)を実施しました。東京シューレの OBOG、保護者の皆さんにご協力いただいたのシンポジウム、都立桐ヶ丘高校(チャレンジスクール)、瀧野川高等学院(フリースクール)、東京シューレ高校コースを紹介した進路相談会を開催し、計 50 名超の参加がありました。これをきっかけに、北区の不登校支援につながったり、王子シューレへつながった子どももあり成果が上がりました。

## ■ 6. その他の事業

### (1) 高校コース事業

事業費 149 (180) 万円

2021 年度は入学生 13 名 (FS 10 名、HS 3 名)、在籍者数は 48 名 (FS 38 名、HS10 名)、年度末に 15 名 (FS 13 名、HS 2 名) が卒業しました。

FS コースは今年度も北海道のスクーリングがコロナの影響で実施できず、メディア視聴を活用して対面授業数を軽減するとともに、本校とリモートで繋いだオンライン授業で所定の時間数をクリアしました。

HS コースは 2 度スクーリングが延期となりましたが、少人数のため、札幌スクーリングとして 2 泊 3 日で行い (和寒町は 2021 年度中は不可)、不足分は東京スクーリングやオンライン授業で補いました。

前年度より検討してきた FS コースの提携先の見直しについては、提携先である明聖高校との合意が得られ昨年 5 月に正式決定し、2022 年度より FS コースは新規募集を明聖高校のみとすることとなりました。提携校として、名称は「明聖高校東京シューレコース」となります。

HS コースは引き続き三和高校と提携し、北海道でのスクーリングを活かしながら進めていく予定です。

### (2) フリースクール スタッフ養成・創業支援プログラム (石橋財団助成) 事業費 618 (230) 万円

全国にフリースクールを増やしていく取り組みとして、石橋財団から助成を受け、フリースクールスタッフを養成するプログラム第 3 期奨学生 2 名 (インターンスタッフ)、創業支援プログラム第 2 期フリースクールぴーす (山梨県甲府市) を実施しました。中間報告会 (4 月) をオンラインを活用して行いました。計画では 5 年間で 10 名の日本各地で活躍するスタッフと 3 校の創業を実施する計画でしたが、財団の方針変更により、養成・創業ともに最終期となりました。

また、当プログラムの一環として「東京シューレ公開研修講座」(全 20 回) をオンラインにて実施しました。フリースクール・ホームエデュケーションなど学校外の多様な学びの形で育つ子ども支援に関心のある方を対象に一般公開し、全国各地から延べ 18 名が受講しました。

### (3) 東京シューレ奨学基金による経済支援事業

事業費 116 (645) 万円

家庭の経済状況や急変によってフリースクールに通うことを断念しないですむように申請によって会費・学費の減額支援し、減免分は東京シューレ奨学基金による充当を行いました。コロナの特別減免の支援プログラムは終了し、通常の減免制度の中で支援しました。

- ① **入会金免除、会費の減免制度** …フリースクール、ホームシューレ 12 家庭、合計 1,156,025 円の減免支援を行いました。
- ② **東京シューレ奨学基金** … 上記の減免は基金により実施しました。奨学基金は寄付金によって成り立っており、寄付受入れ 1,171,402 円、期末残高 15,377 円でした。寄付募集の取組が進まなかったことを受けて、基金がほぼ底をつく状況となり、資金確保は今後の課題です。

## ■ 7. その他の活動について

本部事業・管理費 4,093 (4,882) 万円

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止、ウィズコロナの中での活動

- ① **フリースクール閉室・時短開室** …各スペースの状況に応じて開室時間を調整
- ② **感染予防対策** …検温・消毒、手洗い、マスク着用、三密を防ぐ、黙食、部屋定員の設定、ミーティングでの注意喚起など通年で実施しました。大田ではスペースでの感染があり 3 月 3 日間の閉室としました。
- ③ **合宿等や飲食を伴う活動の再開** …スキー合宿や旅行、お泊り会など、感染対策や抗原検査を実施することで再開しました。日常活動での料理なども少しずつ再開しました。

## (2) 性や権利の学び、性について学ぶ会の活動

安心や安全、人権、性の学びに重点を置き、性講座、CAP ワークショップなどを実施しました。9 月に「性について学ぶ会」が NPO・学園合同のスタッフ・保護者・子ども参加で月 1 回でスタートし、シューレにおける学習プログラムの開発や性の学びについてのアンケートの実施、通信や保護者メールなどでの呼びかけや記事掲載等を通して継続的・計画的な活動を重ね、学習動画の制作、コラム月刊「マナブーン」発行、書籍資料の紹介、生理用品や性教育トイレットペーパーの設置等を実施しました。トイレットペーパー購入のためのご寄付も保護者の皆さんにご協力いただきました。

## (3) 保護者会/親の学び合い・相談/

- ① **保護者会・保護者参加参画** …保護者会年 11 回開催（リアル、オンラインなどスペースの状況に応じて）、うち合同保護者会を 7 月（ゲームについて・講師：児童精神科医関正弘さん）  
Slack の導入によるコミュニケーション（王子、運営委員会準備会）の試行。理事会・法人運営における保護者参画の明記、教育運営における運営委員会づくりのチャレンジなどを通して保護者参加の機会が増え、新たな模索が始まりました。
- ② **フリースクール説明見学会** …入会をご検討の保護者対象に、前期は新宿シューレで、後期は各スペースで開催しました。
- ③ **相談電話・来訪相談** … 平日月～金 14:00～17:00、相談電話は常設実施しました。
- ④ **親ゼミ・親の会** …毎月第 3 日曜日午前に親ゼミを年間 10 回開講。「登校拒否を考える会」（王子）、流山親の会、大田親の会、葛飾親の会は連携して各会月 1 回リアル開催（4 月は中止）、合同で通信を発刊しました。

**(4) スタッフの研修等の活動** …各学期ごとの NPO 法人スタッフ研修、学園スタッフとの合同で他の学び場への訪問研修、人権研修 2 回（「性と人権のセミナー ログ事件と私（たち）」人権ファシリテーター：安藤由紀さん）、情報セキュリティ研修、初等部研究会、遊び・スポーツ研究部会、性について学ぶ会、オンライン活動研究部会を定期的に開催し、計画的に質の向上や新たな活動づくりの模索を行いました。多様な学び実践研究フォーラム（喜多明人「多様な学びにおける事故予防および事故対応のあり方の探究」）、JDEC 日本フリースクール大会、未来の先生フォーラム、全国ネット連続講座等への参加や実践発表なども推奨しました。

**(5) 活動上や子どもの重大事故等への対応** …活動上や子どもに関わる重大事故や緊急事案が起こった時に、外部や専門的な観点・知見を入れた相談やケア、サポートを迅速に行うチームの設置を事案ごとに実践的に作りはじめ、野村武司理事（弁護士）、外部専門カウンセラー、医師、心理職専門スタッフ、現場スタッフ・理事であたりました。子どもの困難な状況に対応する相談体制や現場スタッフを支える体制づくりが急務です。

## (6) 担任見学会、一般対象の研修・講習会、視察等

- ① **フリースクール担任見学会** … 全スペースで、フリースクール生の在籍校の担任や SC・SSW 等を対象に夏休みを利用して見学会を開催
- ② **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、東京成徳大学大学院生実習 3 名、東京しごとセンター NPO 実習等の受け入れ
- ③ **出張・派遣等** … 静岡県児童館連絡協議会、多様な学び実践研究フォーラム・JDEC 日本フリースクール大会など

## (7) 東京シューレ 35 周年祭活動の終了

- ① 映画『フリースクールなう』自主制作 …2022 年 7 月製本完了配布
- ② 東京シューレ 35 年の歴史マンガ、記念誌 …制作が進んでいたマンガと記念誌でしたが、被害当事者 OG の方への二次加害になる可能性を考慮して理事会で制作中断を決定し、制作のための寄付をいただいた方にはご意思を確認し返金しました。

## (8) 普通教育機会確保法、フリースクールの公的支援諸施策の活用や政策提案

- ① 普通教育機会確保法の周知、国・自治体のフリースクール等支援の促進
  - ・ 保護者会、子どもミーティング、スタッフなどシューレでの情報提供や理解を深め、フリースクール全国ネットワーク、親の会の全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、東京都フリースクール等ネットワーク(TFN)、千葉県フリースクール等ネットワーク(CFN)の一員として、フリースクール等へ通うための家庭への経済支援とフリースクールへの財政支援の実現を訴えました。
  - ・ 新型コロナ対応をはじめ教育・子ども施策においては公立学校・私立学校が優先され、フリースクール等学校外の学びの場が取り残され格差が拡大しました。この状況に対し、フリネット・TFN を通して改善を訴えました。
- ② 国・自治体の会議等への参加
  - ・ 不登校調査研究協力者会議…フリネットを通して、公民連携事例、公費支援の要望を届けました。
  - ・ 東京都、北区、さいたま市、大田区での、教育委員会・学校・フリースクール等との連携会議に出席しました。
- ③ 世田谷区事業・北区事業を通じた公民連携の推進(前掲)

## (9) NPO・地域や企業・財団等との連携・協働

### ① NPO・地域連携

フリースクール全国ネットワーク、不登校・登校拒否を考える全国ネットワーク、登校拒否を考える会、多様な学び保障法を実現する会、東京都フリースクール等ネットワーク、千葉県フリースクール等ネットワーク、北区子ども・若者応援ネットワーク、大田区 NPO 団体交流会などの構成員として連携して、地域連携や普通教育機会確保法の周知や公的支援を求める取組を継続しました。

### ② 企業・財団等連携

企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただき、協働による持続可能な社会づくりとしての交流も進みました。(敬称略で表記)

- ・ 公益法人石橋財団：フリースクールスタッフ養成・フリースクール創業支援プログラム
- ・ ポーイング ジャパン：デジタル、STEM/STEAM 教育
- ・ セールスフォース・ドットコム：データベース構築と運用
- ・ アマゾン ジャパン：メンタルヘルスに関する支援
- ・ 日本産業パートナーズ：スタッフ派遣
- ・ ナイキ ジャパン：スポーツ施設提供、スポーツプログラムの提供
- ・ ほのぼの運動協議会：フリースクール活動

その他、幸栄不動産、東京シューレ出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、北区社会福祉協議会、日本 N P O センター・テックスーパ、北区市民活動推進機構など。

## ■ 8. 収益事業（認可保育所貸付事業）

損益 1,001 (915) 万円

大田ビルにおける認可保育所貸付事業の継続、収益を NPO 活動を支える資金としました。また土地取得および建設時の借入金返済は 1,438 万円を収益事業収益、減価償却費、基本金組入額を原資に計画どおり継続しました。

## ■ 9. 団体の運営に関する報告

### (1) 組織

① **NPO 年間会員数**（ ）は昨年度年間… 会員 353 (379) 名、支援会員 51 (60) 名、賛助会員 1 (2) 法人

② **総会運営**… 通常総会 2021 年 6 月 12 日（土）開催、臨時総会 8 月 29 日（日）開催

③ **理事会運営**… 前々理事会 5 回、暫定理事会 9 回、再建理事会 7 回 計 21 回開催

- 4 月 10 日（土） 性暴力加害事件について ① 第三者調査検証について ② スタッフへの共有について（報告） / 2021 年度の重点・事業計画について / 役員候補者の選任について / 事務局長辞任について / 会計報告 / 財政委員会から ① 未収会費（報告） ② 会費の減免 / 4、5 月の予算執行（計画・デジスタ解約ほか）について / 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について / 東京シューレ公開イベントの開催について / 高校提携・高校コースについて、ほか
- 5 月 8 日（土） 明聖高校教育提携について / 2021 年度総会運営について / 2020 年度事業報告、決算・会計監査報告 / 2021 年度事業計画・予算について / 役員候補者の選任について / 6 月 6 日公開イベントについて / 理事会学習会チームから（進捗・報告） / 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について / その他 ① 人権委員会から ② 情報セキュリティ研修 ③ リスク管理規程 ④ 臨時理事会の開催日時について
- 5 月 15 日（土） 性加害事件・裁判に関する質疑（奥地理事長、中村理事）
- 5 月 30 日（土） 2021 年度通常総会運営について
- 6 月 12 日（土） 人権委員会検証報告書について ① 喜多明人さんからの開示の要請について ② 報告書提出について / 総会運営について / 役員候補者の変更について（動議） / 理事長・副理事長の選任の方法について / 会計報告 ① 賞与の執行について / 人権委員の選任について / 役員候補者の選任について / スタッフ募集 / 新型コロナウイルス対応 / 6 月 6 日公開イベント振り返り / その他

#### 【暫定理事会の発足】

- 6 月 20 日（日） 総会報告 / 人権委員会報告書の取り扱いについて / 理事長選任 / 組織改編・臨時総会の検討、ほか
- 6 月 27 日（日） 理事会の今後の基本方針 / 人権委員会報告会について / 理事研修について、ほか
- 7 月 4 日（日） 保護者会での性加害事件報告について / 理事会基本方針及び声明について、ほか
- 7 月 7 日（水） 声明文の検討 / 第三者調査検討委員会の設置について / 組織改編について、ほか
- 7 月 10 日（土） 共同代表制への移行と定款変更について / 理事会声明の HP 掲載について、ほか
- 7 月 18 日（土） 6 月～8 月の予算執行について / HP 掲載の理事会声明の取り扱いについて / 人権委員会報告書の取り扱いについて / 臨時総会開催について、ほか
- 7 月 25 日（日） 理事会声明の取り扱いについて / 組織改編について / 臨時総会開催について、ほか
- 8 月 5 日（木） 佐藤顧問弁護士による「理事会の役割について」の学習会 / 組織改編について / スタッフの採用について、ほか
- 8 月 11 日（水） 性加害事件対応について / 理事候補について、ほか

#### 【再建理事会の発足】

- 9 月 12 日（日） 代表理事の選出 / 法人事務局の設置 / 人権委員会・第三者調査委員会設置準備について / 性暴力加害事件について / ほっとスクール「希望丘」について、ほか
- 10 月 10 日（日） 第三者調査委員会等の調査報告書・調査資料の文書保存・管理規則について / 第三者調査検証委員会の設置準備（性暴力事件対応チーム）について / 理事会主催説明会について / ほっとスクール「希望丘」について / 財務対応チームの設置等について / 新宿シューレ施設（新宿区旧若松出張所）について / 非常勤スタッフ採用人事について / 流山シューレ対応チーム設置について、ほか
- 11 月 14 日（日） 理事会主催説明会について / 事件に関する関係者団体対応・説明責任について / 人権担当委員（仮称）の設置について / 保護者代表理事代行について

- 12月8日(水) 前理事長からの文書・学園への対応について/二次加害の防止と活動自粛について/冬季賞与執行について/役員退職慰労金の支給について/資金調達について/財務処理について/新宿シューレ施設について/定款変更後の対応について、ほか
- 1月22日(土) 役員退職金規程に基づく理事報酬額、臨時総会について/理事辞任・学園からの理事推薦について/事件に関する関係者団体説明・被害当事者 OG の方との意思疎通について/会員制度変更について
- 2月26日(土) 事件関係者団体説明について/2022 年度予算並びに事業計画について/2023 年度スペース事業について/役員退職金規程の改定について/前理事長への対応について/スタッフ時間外手当について、ほか
- 3月28日(土) 事件対応について/2022 年度事業計画・予算、2022 年度スタッフ体制について/スタッフ調整手当未支給の処理について/スタッフ代表理事の処遇について/人事委員会設置準備チームについて/保護者理事補充について/2022 年度総会について/施設整備費の消費税の取り扱いについて/プライバシーポリシーの制定/スタッフ採用ガイドラインの改定/スタッフ時間外手当について

④ **委員会運営**… 下記、理事会により設置された各種委員会が活動しました。

- 財政委員会(会費の減免受付、会費未収対応)
- 給与待遇改善委員会(顧問:半沢公一社労士、スタッフ待遇改善)
- 子ども等の人権の保護に関する委員会(委員長:大谷恭子弁護士[6月まで]、調査検証や元原告被害当事者 OG の方との対応、理事会への提言)
- 性暴力加害事件裁判第三者調査検証委員会(委員長:馬場望弁護士)
- PCネットワーク・情報セキュリティ委員会(顧問:㈱みらいこ山岡茂治氏、マイクロソフト 365 導入支援、情報セキュリティ規程作成)
- ファンドレイジング・チーム(活動休止中)

⑤ **スタッフ体制**… 常勤スタッフ・サポートスタッフ、非常勤スタッフ(スタッフ養成プログラムの開始によるインターンスタッフ)、ボランティアで体制をつくりました。日本産業パートナーズ株式会社からはスタッフ 1 名の常勤派遣を 9 月まで計 1 年間していただき支えられました。大きな組織改革を優先的に取り組んだ期となり、それに基づく業務の構築と分担、常勤だけでなく非常勤・ボランティアを含めたスタッフのコミュニケーションや体制等を進めました。外部を活用した法人運営への転換でスタッフ体制が支えられました。一方、新たな組織体制の過渡期、分権分担任体制の模索の期であったため、調整や協議の時間が過重となり課題です。

## (2) 性暴力加害事件の取組と再発防止、組織改革の取組

### ① 経過

- 1998 年から 2001 年 3 月に実施していた宿泊型フリースクール事業(ログハウスシューレ)において、当時のスタッフによる会員の子どもの性暴力加害を起こしてしまいました。元原告被害当事者 OG の方には、心身ともに傷つけ、その後の人生に多大なご負担をおかけしたことをあらためて深くお詫びいたします。2016 年に提訴を受け 2019 年 7 月に和解に至り、和解条項に基づく「子ども等の人権の保護に関する委員会(以下、人権委員会)」(委員長:大谷恭子弁護士)を設置し、再発防止の体制づくりと施策策定に着手しました。
- 2020 年度理事会・総会において、事件の検証・共有と施策の取組を推進することを確認し、人権委員会に「調査検証部会」を設置、その後、元原告被害当事者 OG の方からの要望を得て外部委員のみで構成される「第三者調査検証委員会」に改組し、外部による検証と提言を求めることとしました。
- 2021 年 6 月 10 日、理事会は、人権委員会調査検証報告書および第三者調査検証委員会回答書の提出を受け、重大な性暴力加害・子どもの人権侵害事件を引き起こしてしまったこと、法人として事後対応を誤ったこと(救済対応を十分に行わなかったこと、原告が納得する「真の和解」に至っていないこと、東京シューレが求めた「口外禁止」によって元原告被害当事者 OG の方に苦痛を与えたのみならず、組織内の説明と社会的説明を妨げたこと等)の指摘、理事長、事務局長の責任及び可視化できる形で責任の所在を明らかにすべきとの提言を受けました。
- 6 月 12 日、理事会は任期満了後の奥地前理事長の再任を否決し、同日開催の通常総会において役員の変更が行われました。外部の立場から喜多明人さんが理事長に選任され、組織改革のための「暫定理事会」が発足しました。

## ② 事件の説明・情報共有、調査検証の継続、再発防止の取組

- 「暫定理事会」は、6月24日組織改革と調査検証報告の骨子についてホームページで報告し社会的説明を行い、7月6日NPO会員・保護者・子ども会員に向けた人権委員会による調査検証報告会、7月8日臨時保護者会、7月21日前理事長説明会、代表理事による関係者団体等への説明など、可能な社会的説明に取り組みました。「再建理事会」は、会員に対する中村元事務局長・理事説明と理事会による説明の開催を決めましたが、時期について調整中で年度内実施に至りませんでした。
- 社会的説明については、7月に理事会声明をホームページにて行いましたが、記載内容について、シューレの姿勢を示すことを重視するあまりに、事前に元原告被害当事者 OG の方との意思疎通や同意を得るプロセスを怠り、新たな二次加害を与えてしまったことのお詫びを表明しました。理事会は、被害当事者 OG の方の意向尊重を最優先の基本方針として位置付け、コミュニケーションを開始しました。
- 上記の経過から、会員への情報共有や報告も、不十分であったことを重く受け止めています。
- 第三者調査検証委員会を新たに組織し調査検証を継続することを7月理事会、8月臨時総会で決めその準備に入りました。10月、代表理事のもとに事件対応チームを設置し、元原告被害当事者 OG の方のご意向を反映した委員会組織とするため時間をかけており、第二次調査検証は2022年度の予定です。
- 再発防止の取組として、人権に関する外部通報相談窓口にあ藤由紀さん（人権ファシリテーター・元CAPスペシャリスト）、スタッフ人権研修（2回、講師：あ藤由紀さん）、会員向け人権・相談に関する啓発・情報提供パンフレットの作成（完成配布は2022年度）、教育活動における性についての学びの強化などを実施してきました。
- 調査検証・再発防止の取組は、NPO・学園両法人の共通課題として位置付け合同で取り組んできましたが、学園より元原告被害当事者 OG の方との対応と再発防止の合同での取組から離脱する方針が示されました。しかし、東京シューレとして共同して対応すべき事案であると調整中です。

## ③ 理事会改革と定款変更

- 事件の反省に立って、どのような運営のしくみをつくと再発防止となり得るか、スタッフミーティング、顧問弁護士、外部の有識者との意見交換を重ね、理事会改革とそのための定款変更のための臨時総会を8月29日に招集しました。法人経営（理事会）と教育運営（運営委員会）とを分離し、理事会の役割を明確にしました。
- 理事会構成を①保護者、②職員（スタッフ）、③社外（外部有識者）の3構成およびその他とし、それぞれから1名上3名以内、総数10名以内として、内部・外部の理事による監視機能を明確にし強化しました。
- 理事長を「代表理事」とし、理事の3構成からそれぞれ代表を選任（1名以上3名以内）する複数共同代表制としました。
- 事務局、委員会を定款に明記し、組織の構成を明確にしました。
- 2021年12月21日に、所轄庁（東京都）から定款変更認証を得ました。

## ④ 「再建理事会」の発足

- 理事会を改組し、①保護者（池田あつ子さん、折田毅久さん、藤井清志さん）、②職員（佐藤信一さん、野村芳美さん、矢嶋康平さん）、③社外（川北秀人さん、喜多明人さん、野村武司さん）、木村砂織さん（東京シューレ学園推薦）による再建理事会が発足しました。（※木村理事は12月辞任）
- 代表理事は、池田あつ子さん、佐藤信一さん、喜多明人さんが各立場から選任され複数体制となりました。

## ⑤ 運営委員会の準備スタート

- 8月臨時総会を受けて「子ども中心」の教育活動をしていくためにはどのような運営委員会が望ましいかについて、運営委員会設立準備会を立ち上げ、議論を開始しました。
  - 9月25日 有志保護者メンバーにより運営委員会設立準備会を発足
  - 9月27日 保護者あてに運営委員会設立準備会の参加・協力の呼びかけ（メールにて）
  - 11月27日 保護者・スタッフによる第1回打ち合わせ 今後の進め方について
  - 12月10日 運営委員会の位置づけ、メンバーシップについて意見交換し、準備会への子どもたち参加を決める
  - 1月8日 子ども・スタッフ・保護者三者による初めての運営委員会準備会。以後三者によって開催
    - 運営委員会の在り方・やり方、シューレの活動や課題などについて、参加者での意見交換
    - 意見交換などの場として運営委員会の用の Slack 立ち上げ
    - 2月以降はフリースクールとホームシューレでは、別々に準備会を行った

2月12日 個別プロジェクト（ボーイング、性について学ぶ会、Amazon など）のアイデアの提案、運営委員会の持ち方について、

3月12日 個別プロジェクトの進捗状況報告、運営委員会の存在・組織作り・今後のやり方についての意見交換

### (3) 運営・経営

#### ① 2021 年度決算（損益）の概要

- ・ 非営利（NPO）事業における経常収益 1 億 6373 万円、経常費用 1 億 8215 万円、**経常損益▲1842 万円**
- ・ その他収益事業（保育所貸付）による損益は 1000 万円
- ・ 非営利（NPO）事業・その他収益事業を統合しても損益は**▲847 万円の赤字**
- ・ 上記事業損益の赤字と大田土地建物の長期借入金の返済があり、**流動資産が 2390 万円減少（前年度末比）、正味財産 1464 万円減少（前年度末比）**

財政状況の急激な悪化傾向が顕著となりました。主な要因や背景はしっかりとした分析が必要ですが、多様な学びが一定の社会的認知を得る一方、フリースクール等の状況や環境の変化も大きく、理事会やスタッフ間では下記のような状況認識があがっています。

- ・ 要因は、会員数の減少による事業収入の減少や寄付金収入の減少
- ・ 会員数の減少の要因分析と対応が必要
  - ・ コロナによる説明見学会参加者や入会の減少、退会増
  - ・ 2021 年度末高等部・高校卒業タイミング退会
  - ・ 学校・教育委員会等の不登校対応の柔軟化や不登校支援メニューの拡大
  - ・ 性暴力加害事件、広報活動抑制の影響
- ・ 組織改編の混乱や社会的説明不足等による寄付募集活動の停滞
- ・ フリースクール等多様な学びへの公費支援の立ち遅れ（学校との格差拡大）

② **基本金の組み入れ**…定款および入会金・会費規定に基づき、使途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費 556 万円を基本金に組み入れました。

③ **新型コロナウイルス対応**…感染予防対策の徹底、感染拡大防止協力金（200 万円）の申請取得、フリースクールの時短開室、理事会、保護者会、スタッフミーティング、実行委員会等のオンライン活用、抗原検査導入での合宿活動の再開など

④ **スタッフ等の働き方改革・待遇改善** …有給休暇取得 5 日の法制化を受けて取得の促進と把握、コロナワクチン接種時の特別有給休暇の導入、活動上の緊急事態における専門家のアドバイスを得てのケア対応など

⑤ **諸規程の制定・改定**…定款、プライバシーポリシー、役員退職金規程、人権委員会規程、第三者調査スタッフ採用ガイドライン、第三者調査委員会等の調査報告書・調査資料の文書保存・管理規則、入会金・会費規程

⑥ **会員制度の運用変更**…活動づくりをやすくする観点と経営の観点から、2022 年度から準会員の新規入会、会員区分変更を中止としました。

#### ⑦ 施設・設備・備品

- ・ 王子：音響機器、ゲーミングパソコン、タブレット
- ・ 新宿：玄関ドアロック
- ・ 大田：大田ビル建設の借入返済と保守、修繕積立、音響機器、タブレット
- ・ 流山：室内照明交換、

## ■ 10. 決算に関する報告

### 2021 年度 活動計算書 (その他事業がある場合)

特定非営利活動法人東京シューレ

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他収益事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
<b>【A】 経常収益</b>					
1 受取会費		5,085,000		0	5,085,000
NPO会員受取会費	5,085,000				
2 受取寄附金		3,255,761		0	3,255,761
受取寄附金 (特定の寄付)	2,780,540				
受取寄附金 (一般の寄付金)	475,221				
3 受取助成金等		15,441,224		0	15,441,224
受取助成金	15,441,224				
4 事業収益		144,454,041		0	144,454,041
フリースクール 事業収益	85,381,399				
提携事業収益	5,610,000				
受託事業収益	38,440,000				
ボランティア評価益	1,620,000				
ホームエデュケーション事業収益	13,402,642				
5 その他の収益		-4,498,937	19,452,000		14,953,063
その他収入	1,061,284				
貸貸料収益			19,452,000		
基本金組入額	-5,560,221				
<b>経常収益計</b>		163,737,089	19,452,000		183,189,089
<b>【B】 経常費用</b>					
1 事業費					
(1) 人件費		119,202,741		1,922,403	121,125,144
給料手当	98,671,682		1,650,285		
退職給付費用	4,905,053		22,300		
福利厚生費	48,438				
ボランティア評価損	1,620,000				
法定福利費	13,957,569		249,818		
(2) その他経費		54,174,075		5,372,809	59,546,884
支払報酬・講師料	1,318,645		436,000		
荷造運賃発送費	684,496				
旅費交通費	5,948,883		27,739		
通信費	1,418,535		38,910		
消耗品費・事務用品費	4,331,385		44,654		
水道光熱費	2,300,583		20,798		
地代家賃	20,739,910				
賃借料	201,962				
奨学基金充当金	1,156,025				
租税公課	1,766,619		1,118,101		
支払手数料	614,329		946		
減価償却・保証金償却費	5,393,842		3,347,953		
雑費	2,180,157		92,000		
その他活動費等	6,118,706		245,708		
<b>事業費計</b>		173,376,816	7,295,212		180,672,028
2 管理費					
(1) 人件費		2,960,276		159,260	3,119,536
役員報酬	1,433,340		159,260		
給料手当	739,749				
退職給付費用	531,673				
福利厚生費	0				
法定福利費	255,515				
(2) その他経費		5,819,768		0	5,819,768
支払報酬	1,805,730				
荷造運賃発送費	29,787				
旅費交通費	34,900				
通信費	194,551				
消耗品・事務用品費	223,270				
水道光熱費	56,254				
地代家賃	283,266				
租税公課	196,291				
減価償却・保証金償却費	777,688				
支払手数料	283,266				
雑費	23,955				
その他経費等	1,910,813				
<b>管理費計</b>		8,780,044	159,260		8,939,304
<b>経常費用計</b>		182,156,860	7,454,472		189,611,332
<b>当期経常増減額【A】-【B】…①</b>		-18,419,771	11,997,528		-6,422,243
<b>【C】 経常外収益</b>					
奨学基金繰入金収益	1,156,025				
特別会計繰入金収益	8,148,142				
<b>経常外収益計</b>		9,304,167		0	9,304,167
<b>【D】 経常外費用</b>					
支払利息	950,316		1,988,753		
固定資産除却損	169,428				
特別会計繰入金支出	8,148,142				
雑損失	98,210				
<b>経常外費用計</b>		9,366,096	1,988,753		11,354,849
<b>当期経常外増減額【C】-【D】…②</b>		-61,929	-1,988,753		-2,050,682
<b>経理区分振替額…③</b>					
<b>税引前当期正味財産増減額①+②+③…④</b>		-18,481,700	10,008,775		-8,472,925
法人税、住民税及び事業税…⑤			2,076,700		2,076,700
前期繰越正味財産額…⑥	-110,723,492				-110,723,492
<b>次期繰越正味財産額④-⑤+⑥</b>					-121,273,117

2021年度 貸借対照表

2021年3月31日 現在

特定非営利活動法人東京シューレ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計	前期末増減額
<b>【A】資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	74,194,410		
未収金	8,745,520		
立替金	5,517		
前払費用	3,430,720		
預託金	422,328		
棚卸資産	26,460		
流動資産合計・・・①		86,824,955	▲ 23,900,476
2 固定資産			
(1) 有形固定資産		275,426,083	
土地	91,723,840		
建物	147,197,759		
建物付属設備	30,063,879		
構築物	4,247,925		
備品	2,192,680		
(2) 無形固定資産		730,155	
ソフトウェア	82,155		
電話加入権	648,000		
(3) 投資その他の資産		11,004,909	
保証金	10,954,909		
出資金	50,000		
固定資産合計・・・②		287,161,147	▲ 10,021,229
<b>【A】資産合計 ①+②</b>		<b>373,986,102</b>	<b>▲ 33,921,705</b>
<b>【B-1】負債の部</b>			
1 流動負債			
前受金	7,151,336		
未払金	3,500,962		
預り金	1,387,249		
仮受金	25,970		
賞与引当金	4,675,800		
未払消費税等	1,007,276		
流動負債合計・・・③		17,748,593	▲ 1,665,908
2 固定負債			
長期借入金	201,095,548		
預り敷金	4,863,000		
退職給付引当金	15,008,428		
固定負債合計・・・④		220,966,976	▲ 17,608,229
<b>負債合計 ③+④</b>		<b>238,715,569</b>	<b>▲ 19,274,137</b>
<b>【B-2】正味財産の部</b>			
基本金	250,795,590		
前期繰越正味財産額	-110,723,492		
当期指定正味財産額	5,748,060		
当期正味財産増減額	-10,549,625		
<b>正味財産合計</b>		<b>135,270,533</b>	<b>▲ 14,647,568</b>
<b>【B】負債及び正味財産合計【B-1】+【B-2】</b>		<b>373,986,102</b>	<b>▲ 33,921,705</b>

2021年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、最終仕入れによる原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、法人税の規定に基づいて定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、スタッフの賞与の支給に備えるため支給見込み額のうち当期に帰属する金額を計上、退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、2017年度末における退職給付債務に基づき計上しています。2018年度以降は中小企業退職金共済への加入により掛金を活動計算書に計上しています。

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

ボランティア等による役務の提供を受けた場合は、役務の提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜きによっています。



# 特定非営利活動法人東京シュレ 2021 年度(第 23 期)活動報告書

## 3. ボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
フリースクール活動に対する企業(※)からのボランティアスタッフ派遣	1,620,000	スタッフの給与規程により算定

※日本産業パートナーズより

## 4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は135,408,033円ですが、そのうち5,748,060円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は129,659,973円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
<b>1. 特定の寄付</b>					
①フリースクール活動(本部、王子、大田)		573,416	573,416	0	
②フリースクール入会時(王子、新宿、大田)		200,000	200,000	0	
③メンタルヘルスクャンペーン活動(本部)		500,000	500,000	0	
④子どもの権利映像活動(本部)		51,116	51,116	0	
⑤35周年祭への寄付(本部)		215,256	215,256	0	
⑥高校コース入学時		50,000	50,000	0	
⑦東京シュレ奨学基金		1,171,402	1,171,402	0	
⑧ホームシュレ活動		19,350	19,350	0	
特定の寄付合計	0	2,780,540	2,780,540	0	
<b>2. 助成金</b>				0	
⑨フリースクール活動(新宿シュレ)		35,000	35,000	0	
⑩スタッフ養成・フリースクール創業支援事業	8,396,209	0	8,396,209	0	
⑪デジタルスタジオ事業	7,010,015	5,748,060	7,010,015	5,748,060	
助成金合計	15,406,224	5,783,060	15,441,224	5,748,060	

備考

①フリースクールの活動全般に対する、ほのぼの運動協議会からの寄付、個人等からの寄付(6件)です。

②フリースクール入会時の寄付4名からの寄付です。50%を基金に繰り入れています。

③Amazon Japan G.K.からの寄付です。

④子どもの権利映像活動、「不登校なう」映画活動への個人からの寄付です。

⑤35周年祭活動への個人からの寄付です。

⑥高校コース入学生保護者からの寄付です。内50%を奨学基金への寄付に繰り入れています。

⑦入会入学時寄付の50%、寄付サイトによるマンスリー寄附等です。

⑧ホームシュレの活動に対する個人等からの寄付です。

⑨新宿区勤労者・仕事支援センターからの不登校の子ども・若者の社会的自立を支援する活動助成です。

⑩公益財団法人石橋財団による寄付助成活動です。

⑪ポーイング社からの寄付助成活動です。

上記の特定寄付金のほか、使途特定のない一般寄付金として30名から475,221円の寄付がありました。

## 5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	取得価額	取得	減少	前期末帳簿価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
<b>基本財産</b>						
土地						
大田区仲六郷2丁目13-13	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
大田区仲六郷2丁目13-16	63,151,780			63,151,780	0	63,151,780
建物						
東京シュレ大田ビル	161,846,562			146,237,754	15,608,808	146,237,754
ログハウス(長野 麻績村)	24,000,000			1,200,000	23,039,999	960,001
建物付属設備						
東京シュレ大田ビル	40,211,593			31,439,974	11,451,932	28,759,661
構築物						
外構工事	5,847,770			4,639,724	1,599,845	4,247,925
備品						
ネットワーク機器等	1,066,159			596,753	620,070	446,089
<b>その他の固定資産</b>						
建物						
新宿 旧若松出張所 建物改修工事	22,221,240			319,003	22,221,236	4
建物付属設備						
王子 コーエイビル 空調設備等	2,327,625			63,034	2,291,751	35,874
〃 玄関、ロッカー設置	1,954,800			836,190	1,314,090	640,710
〃 屋上手摺工事等	166,000			145,250	41,500	124,500
〃 照明器具取替工事	229,000			221,329	23,014	205,986
新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	1,029,840	155,100		100,728	876,189	153,651
〃 空調設備	974,658			235,119	957,773	16,885
流山 グローリアビル 照明器具取付工事		131,000			4,388	126,612
王子 ヘルピックビル パーティション工事	681,793		169,428	207,381	512,365	0
工具器具備品						
王子 コーエイビル ネットワーク機器	642,500			401,563	305,187	337,313
〃 耐火金庫	181,749			119,655	71,181	110,568
〃 給湯器	189,972			1	189,971	1
〃 照明器具等	408,762			346,681	89,467	319,295
〃 看板	496,800			376,740	169,740	327,060
新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	356,280			294,518	107,440	248,840
流山 グローリアビル パソコン、エアコン	316,800			195,100	187,885	128,915
世田谷 舞台	1,070,820			236,297	1,070,819	1
HS 東風ビル エアコン工事	359,680			334,653	85,093	274,587
その他備品	4,916,000			11	4,915,989	11
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
ソフトウェア						
東京シュレホームページ	451,400			262,715	369,245	82,155
保証金						
王子 コーエイビル	12,744,000			11,744,000	2,000,000	10,744,000
流山 グローリアビル	120,000			120,000	0	120,000
王子 ヘルピック大岩	630,000		630,000	630,000	0	0
立石 東風ビル	90,909				0	90,909
出資金						
澁野川信用金庫 西ヶ原支店	50,000			50,000	0	50,000
合計	377,954,552	286,100	799,428	293,726,013	90,124,977	287,161,147

6. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
瀧野川信用金庫 土地購入	21,190,000	-	3,960,000	17,230,000
" 建築費用	194,289,210	-	10,423,662	183,865,548
合計	215,479,210	-	14,383,662	201,095,548

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
1 経常収益			
寄付金	3,255,761	264,037	410,000
その他収益 (雑収入等)	1,061,284	0	43,145
収益計	4,317,045	264,037	453,145
2 経常費用			
1. 事業費			
地代家賃	20,739,910	0	109,091
その他経費	38,806,974	0	40,000
経費計	59,546,884	0	149,091

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

1. 事業費と管理費の按分方法

実態に合わせて、合理的と考えられる配賦基準によって事業費と管理費を按分しています。

2. 基本金組入額について

NPO会員入会金及び会員・支援会員年会費、使途指定のない寄付金を基本金に組み入れています。

基本金計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

単位：円

事項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	308,466,884	245,235,369	63,231,515
II 当期組入額			
NPO入会金・会費収入高	5,085,000	5,085,000	0
寄付金収入高	475,221	475,221	0
計	5,560,221	5,560,221	0
III 当期取崩額	0	0	0
IV 当期末残高	314,027,105	250,795,590	63,231,515

2021 年度 財産目録

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人東京シューレ

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
	現金預金			
	手元現金	343,322		
	三菱UFJ銀行王子支店普通預金	28,467,236		
	みずほ銀行王子支店普通預金	1,069,475		
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店普通預金	3,845,793		
	ゆうちょ銀行振替口座	2,263,496		
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店定期積金	3,850,000		
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店定期預金	34,355,088	74,194,410	
	未収金			
	フリースクール事業未収金	1,317,650		
	ホームエデュケーション事業未収金	13,870		
	世田谷区委託事業未収金	6,974,000		
	北区委託事業未収金	440,000	8,745,520	
	棚卸資産			
	貯蔵品 書籍	26,460	26,460	
	立替金			
	他団体 電話料金	5,517	5,517	
	前払費用			
	4月分家賃	1,828,600		
	スタッフ4月～9月分通勤定期代	1,562,340		
	その他	39,780	3,430,720	
	預託金			
	Syncable取扱い寄付金等	422,328	422,328	
	流動資産合計・・・①			86,824,955
<b>2 固定資産</b>				
<b>(1) 有形固定資産</b>				
	土地			
	大田仲六郷2丁目13番13	28,572,060		
	大田仲六郷2丁目13番16	63,151,780	91,723,840	
	建物			
	大田 東京シューレ大田ビル	146,237,754		
	長野 ログハウス	960,001		
	新宿 旧若松出張所	4	147,197,759	
	建物付属設備			
	大田 東京シューレ大田ビル 躯体部分設備等	28,759,661		
	王子 空調設備等	1,007,070		
	新宿 旧若松玄関鍵取付工事等	170,536		
	流山 照明器具取付工事	126,612	30,063,879	
	構築物			
	大田 東京シューレ大田ビル 外構工事	4,247,925	4,247,925	
	什器備品			
	大田 東京シューレ大田ビル ネットワーク機器等	446,089		
	王子 コーエビル ネットワーク機器等	337,313		
	王子 コーエビル 耐火金庫等	756,923		
	新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	248,840		
	流山 パソコン、エアコン工事	128,915		
	立石 エアコン工事	274,587		
	その他備品	13	2,192,680	275,426,083
<b>(2) 無形固定資産</b>				
	ソフトウェア			
	ホームページ	82,155	82,155	
	電話加入権			
		648,000	648,000	730,155
<b>(3) 投資その他の資産</b>				
	保証金			
	王子 賃貸ビル	10,744,000		
	流山 賃貸ビル	120,000		
	立石 賃貸ビル	90,909	10,954,909	
	出資金			
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	50,000	50,000	
	固定資産合計・・・②			287,161,147
<b>【A】資産合計 ①+②</b>				<b>373,986,102</b>
<b>【B-1】負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
	前受金			
	フリースクール事業会費等	3,411,160		
	ホームエデュケーション事業会費等	1,957,076		
	東京シューレ大田ビル 1階、2階家賃	1,783,100	7,151,336	
	未払金			
	PC保守料他	354,068		
	3月分社会保険料	917,191		
	WEB製作費用	1,485,000		
	カード払い費用	521,683		
	その他 謝金等	223,020	3,500,962	
	預り金			
	源泉徴収税等	1,387,249	1,387,249	
	仮受金			
	証明書発行手数料等	25,970	25,970	
	賞与引当金	4,675,800	4,675,800	
	未払消費税	1,007,276	1,007,276	
	流動負債合計・・・③			17,748,593
<b>2 固定負債</b>				
	長期借入金			
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店 土地購入資金	17,230,000		
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店 建設資金	183,865,548	201,095,548	
	預かり敷金			
	東京シューレ大田ビル貸付 敷金	4,863,000	4,863,000	
	退職給付引当金			
	2017年度末までのスタッフの退職給付金	15,008,428	15,008,428	
	固定負債合計・・・④			220,966,976
<b>【B-1】負債合計 ③+④</b>				<b>238,715,569</b>
<b>【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】</b>				<b>135,270,533</b>

## 監査報告

# 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ

代表理事 佐藤信一 殿

代表理事 池田あつ子 殿

代表理事 喜多明人 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第 22 条に基づき、貴法人の第 23 期事業年度（自令和 3 年 4 月 1 日至令和 4 年 3 月 31 日）の決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録について監査を行った。私は、上記の決算報告書が NPO 法人会計基準に準拠して、当該決算報告書に係る期間の財政状態及び収支の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

令和 4 年 5 月 9 日

監 事

岡野愛肆 

## 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ

代表理事 佐藤信一、池田あつ子、喜多明人 殿

私は、2021年4月1日から2022年3月31日までの特定非営利活動法人東京シューレの事業運営について監査を行いました。その結果、法人の目的に沿って運営されているものと認めます。

そのうえで、以下のとおり付帯意見を申し述べます。

2021年度は2020年度に引き続き、コロナ禍の中の活動となりましたが、感染リスクと子どもたちの学びへのバランスに配慮し、日々の活動もスキー合宿・文化祭などのイベントの実施などにおいても、前向きに活動をつくりあげたことは評価に値します。

ログ性加害事件に関する責任を認め、組織改編をおこない、被害当事者様への謝罪と再発防止に向けての道のりを歩み始めたことも遅すぎたとはいえ、今後に向けて良い方向へ舵をきったと評価します。しかし、立ち上げが進みつつある人権委員会の始動、事件の検証再開などに時間がかかりすぎており、そのことが被害当事者様への苦痛の増大へとつながり、また再発防止のための対策が十分ではないままであったことを指摘します。

また、不登校を経て、あるいはコロナ禍などでのストレスにより、繊細な精神状態にあることも多い子どもたちの専門的なケアが足りていない状況が続いています。心理専門職の雇用の検討と、子どもの自死予防ならびに重大事故が起こってしまった際の対応について、ガイドライン、マニュアルの策定を求めます。

スタッフの働き方について有給休暇取得の徹底など、労働環境を良くするための動きははじまっていますが、一人一人の「やりがい」や「思

い」に頼りすぎずに、心理的・時間的ゆとりをもって働くことのできる環境をつくるのが、子どもたちに安全な活動・居場所を提供することにつながるため、組織としての更なる改革を求めます。

以上のとおり、報告いたします。

2022年5月27日

監 事

石渡 深里



## 2022 年度（第 24 期）重点目標と基本計画

2021 年度の活動と決算を踏まえて、2022 年度の重点目標、基本計画を策定しました。

### ■ 1 重点目標と基本計画

#### 重点目標

##### 【重点目標 1】子どもの多様なニーズに対応できる居場所・学び場づくりを推進し、発展させる

- ① シュールにおける「子ども主体」・「子ども参加参画」、「自己決定（自己尊重）」・「他者尊重」・「個・多様性の尊重」など、根幹に改めて立ち返り、現状を問い、どうありたいかを子ども・保護者・スタッフで対話・議論し、その実現に向けてチャレンジしていく
- ② スタッフ・ボランティア・講師などは関係や連携を深め、子どもの多様な個性や興味関心が生かされ実現するよう支えていく。そのための組織内外での研修や自己研鑽を重ねていく
- ③ 子どもの数が増えるよう、活気ある居場所・学びの場づくりを目指す
- ④ 子どもの成長や自立に大切な遊び・スポーツ、自然体験、性の学び、権利の学び等を充実させていく

##### 【重点目標 2】厳しい財政状況を直視し、組織と活動を存続させるための短期・中長期の計画策定と取組を進める

- ① ニーズを持つより多くの子ども・保護者と出会い、受け入れ、会員増を進める。ホームページリニューアル、説明見学会・オープンデイ・親の会などを工夫し、継続的に丁寧なフォローアップ・支援を行う
- ② 認定 N P O 法人化を進め、寄付・ファンドレイジングによる資金調達・確保を推進する。認定取得に必要な組織整備や公益性の高い活動づくりなど、組織基盤を整備する
- ③ 積極的に外部の知見や経験、実践に学び、早期に生かす

##### 【重点目標 3】東京シュール性暴力加害事件に関して、被害を受けた元会員との意思疎通をしながら、必要な取り組みを行う

- ① 人権委員会の整備、つづく第三者調査検証委員会の設置により加害被害の全容を究明し、元会員の皆さんへの謝罪と対応を進める
- ② 性暴力加害や人権侵害の再発防止施策を推進する
- ③ 裁判和解時の約束であった会員向け人権・相談に関する啓発・情報提供パンフレットの配布開始と学習活動を進める

##### 【重点目標 4】公民連携・中間支援組織との連携を軸に、不登校に対するネガティブな社会価値観を変えていくと共に、学校外の学び・学び場の制度整備を促進する

- ① 居場所・フリースクールの強みを生かした公民連携（世田谷区、北区、新宿区、大田区、千葉県、東京都）を推進していく
- ② 中間支援組織（フリネット、全国ネット、T F N、C F N など）や多様な学びとの連携を継続・再構築して進める

##### 【重点目標 5】 組織基盤の整備とスタッフの働き方改革をすすめる

- ① 組織改編にもとづく新たな運営体制（理事会法人運営と運営員会教育運営）や事務局体制、業務分掌の仕組みづくりを進めていく
- ② 情報開示・公開性を高め、団体の構成員や関係者にも、社会にもオープンな組織運営に変えていく
- ③ スタッフの業務削減と効率化により、スタッフがゆとりをもって子どもと向き合える環境づくりを行う
- ④ 常勤スタッフの有給休暇 2021 年度実績 5.3 日を実現可能性の高い日数目標を明確に設定する

## 2022 年度 役員の体制

役職（立場）	氏名	プロフィール
代表理事（職員）	佐藤信一	王子シューレスタッフ
代表理事（保護者）	池田あつ子	ホームシューレ会員、元フリースクール保護者
代表理事（外部）	喜多明人	早稲田大学名誉教授 子どもの権利条約ネットワーク代表 多様な学び保障法を実現する会顧問
理事（保護者）	折田毅久	王子シューレ会員保護者
理事（保護者）	藤井清志	王子シューレ会員保護者
理事（職員）	野村芳美	大田シューレスタッフ
理事（職員）	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事（外部）	川北秀人	I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 (特) J E N 共同代表理事 (般社) ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事 (公財) 日本自然保護協会 評議員 (般財) 日本民間公益活動連携機構 (J A N P I A) 評議員 (特) 自然体験活動推進協議会 (C O N E) 監事
理事（外部）	野村武司	弁護士 東京経済大学現代法学部教授 西東京市子どもの権利擁護委員（代表委員） 青森市いじめ防止対策審議会会長
監事	紙野愛健	公認会計士、税理士
監事	石渡深里	大田シューレ会員保護者、医師